

令和5年6月7日

令和4年度 第2回 防衛医科大学校病院医療安全監査委員会監査結果報告書

防衛医科大学校病院医療安全監査委員会

委員長 根本 孝一

1. 日付：令和5年3月29日（水）1600～

2. 場所：防衛医科大学校病院東5階カンファレンス室

3. 外部監査委員（出席者）

|           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 委員長 根本 孝一 | 医療法人藤原会 藤原医院顧問           |
| 委員 斉藤 祐次  | 所沢市薬剤師会 顧問               |
| 委員 大舘 千歳  | 国立障害者リハビリテーションセンター病院看護部長 |
| 委員 島戸 圭輔  | 二番町法律事務所（弁護士）（オンライン参加）   |
| 委員 奈良 信和  | 自治体職員                    |

4. 院内出席者

|              |                |
|--------------|----------------|
| 病院長          | 塩谷 彰浩          |
| 医療安全担当副院長    | 辻本 広紀          |
| 医療安全・感染対策部部长 | 横江 秀隆          |
| 病院薬剤部部长      | 小杉 隆祥          |
| 医療安全推進室 室長   | 医師（GRM） 高畑 りさ  |
| 医療安全推進室 副室長  | 看護師（GRM） 村上 理代 |
| 医療安全推進室 室員   | 看護師（GRM） 盛 淳   |
| 医療安全推進室 室員   | 薬剤師（GRM） 丸山 利江 |
| 医療安全・感染対策部   | 大久保 進          |

5. 病院長、副院長（医療安全担当）挨拶

6. 監査事項

(1) 令和4年度特定機能病院間相互のピアレビュー受審結果について

高畑室長より「令和4年度特定機能病院間相互のピアレビュー」について、オンライン会議方式にて、令和4年11月10日（木）、神戸大学より訪問を受けて実施されたことが報告された。

防衛医科大学校病院においては、ネットワーク環境が防衛省の管理下にあり、通常使用する業務用パソコンでZoom、Teams等のオンライン会議システムへ参加することが出来ないことが説明された。そのため、コロナ禍において活用されてきたオンライン会議に参加するためには、学内において管理講座が保有するスタンドアローンのPC及びWiFiシステムを利用せざるを得ないが、通信状況が不良になることが多く、苦慮している現状を確認した。

① 総評について、資料に基づき高畑室長より説明があった

**【委員からの質問】**

- ・目標設定の実施状況について
- ② 医療安全について、資料に基づき高畑室長より説明があった。  
特に委員からの質問はなかった。
- ③ 医薬品等について、資料に基づき医薬品安全管理責任者である小杉薬剤部長より説明があった。

**【委員からの質問】**

- ・未承認新規医薬品等評価委員会での審査件数の内訳について
  - ・委員会における機能について
  - ・部門長が委員になることの適否については、他大学の状況を確認するよう指摘があった。
- ④ 高難度新規医療技術等評価委員会について、資料に基づき横江医療安全・感染対策部長より説明があった。

**【委員からの質問】**

- ・ICの実施状況と問題点についての確認
  - ・長期の有害事象の把握は入院中や当院外来通院中であれば把握できるが、他病院に転院してしまうと難しいとの指摘があった。また、具体的なモニタリング方法の提示についての確認があった。
  - ・委員会に多職種が関与することについて
  - ・倫理委員会とのすみ分けについて
- ⑤ 外部監査委員会について、資料に基づき高畑室長より説明があった。

**【委員からの質問】**

- ・人員不足の解消の目途について
  - ・全国の国立大学附属病院の水準と防衛医科大学校病院の実際人員水準の相違について
  - ・令和3年度の医療安全監査委員会の開催形式の確認
- ⑥ 防衛医科大学校が佐賀大学に訪問調査を行ったことが報告された。

- (2) 令和4年度医療法第25条第3項の規定に基づく立ち入り検査の結果報告  
2年間コロナ禍において書類審査のみであった立ち入り検査が今年度は対面で実施された。文書にて指摘を受けた内容について資料に基づいて高畑室長より説明があった。

- ① 開設者のガバナンス強化・監査体制の整備について

**【委員からの質問】**

- ・衛生監の監査の可能性の可否について
- ・他大学の実施状況について
- ・県立病院だとどうなるのか

② 各安全管理責任者の安全管理委員会の出席について

委員からの質問はなし

③ 医療機器の安全管理の体制整備について

【委員からの質問】

- ・立ち入り検査での指摘事項の対応について
- ・立ち入り検査の実施日程、状況についていつ実施されたのか。
- ・院内の医療機器の台数の確認

④ 診療録の監査における改善状況の把握について

【委員からの質問】

- ・診療録監査における不十分な事例についての確認
- ・必ず診療録に記載しなければいけない項目については、電子カルテのシステム上で管理の可否について
- ・次回の監査での確認方法について

⑤ 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等管理に関わる規定改正、プロセスの明確化について

【委員からの質問】

- ・なるべく簡素化し分かりやすくすることが望まれる。

(3) その他

高畑室長より、患者誤認対策ポスター、転倒・転落対策標語、病院パンフレットの整備状況について説明があった。

(4) 部署ラウンド

今回は病院内の部署ラウンドを実施した。委員からはラウンドに関して下記のコメント・感想が出された。

① 救命 ICU

ラウンド時は比較的落ち着いた状況にあり、特に問題は見当たらなかったが、患者の状況によっては混乱の中で業務を遂行する場合であっても、医療安全の優先順位が変化することなく業務を遂行していただきたいと考える。

② 救急診療棟 蘇生室

COVID-19 の取り扱い変更に伴う運用手順等の変更の時期を見誤ると感染のリスクが増えるが、運用手順等の変更により多くの市民の命を救う事にもつながる。

このバランスは安全性の側面からのみでは語れないため、関係部署と協議の上で決定されるものとする。

③ 救急診療棟 陰圧室

COVID-19 の対応において限られた資材、人員をもって対応されたことに敬意を表したい。高い理想はあるものの当該施設の活用により患者の安全と安心がもたらされていると感じた。

見せていただいた部署は救急対応上必要最低限の更新がされた設備のように感じた。

④ 薬剤部 注射室

医薬品の取り扱いにおけるヒューマンエラーを最小限にするための取り組みを見ることができた。医薬品が複数の職種の手を経て患者に使用されるため今後も追跡管理ができるよう仕組みを整えていただきたい。

⑤ その他

もっと医療・厚生に関わる本院に対し防衛予算からの投資（人的・物的）をこれからも求めていかなければいけないと思う。

ミサイルを買うお金の少しでも、高機能の医療機器購入に回したらよいと思う。

【講評・総評】

「令和4年度特定機能病院間相互ピアレビュー」が無事終了して良かった。当院の努力が評価された部分もあり、また幾つか助言も頂いたので適切に対応して頂きたい。全国の国立大学附属病院水準の人員確保を求められた件については、従来から当委員会でも指摘していたことであるが、今後も改善を求めたい。

「令和元年度医療法第25条の規定に基づく立入検査」の指摘事項については適切に対応して頂きたい。各種の書類作成については当然指示に従って適切に行う必要があるが、現場の paper work の負担が過度にならないように工夫して頂きたい。

今回、ZOOM を用いた対面・オンライン併用で実施したが良い方法だと思う。

日程調整が難しい場合には大いに活用して頂きたい。

部署ラウンドで救命ICU・蘇生室・陰圧室、薬剤部注射室の4箇所を視察したが、職員の日々の努力の状況を確認でき心強く思った。